



市長が、旭川のまち・人・物などについて思うことをお伝えします。

6月も半ばとなりました。田植えの終わった水田には青い稲がきれいに並び、夏の訪れを告げています。

夏期開園中の旭山動物園には市民や観光客が数多く訪れ、にぎわっています。開園50周年を迎える本年は、記念セレモニー

や市民の皆さんを対象にした無料開放が7月に予定されている他、ゴマファザラシの赤ちゃんやリニユールしたさる山など、見所も充実して

いますので、より多くの方にお越しいただきたいと思っています。

さて、市外から観光などで訪れる人が増えれば、地域経済の活性化に大きく寄与しますが、人口減少が進む中では、地域に住み、地



域で働く人を増やしていくための取組みも必要です。今年2月、初めて「地域おこし協力隊」を委嘱し、インターネットを利用した魅

力発信やイベントの運営など、移住・定住や産業振興に関わる仕事に携わってもらっています。移住に関心のある方向けにパンフレットやワンストップ窓口を整備し、移住体験事業も行うなど、PRも進めています。

これからも、快適な都市機能と豊かな自然が調和する旭川の優れた住環境を前面に押し出しながら、移住促進など様々な取組みを進めていきます。

西川 将人

西川市長のまさに一言
FMリバー FM83.7MHz
6月22日(木)
午後4時〜4時15分

旭川市の広報番組

テレビ

●マイタウンあさひかわ (手話通訳付き) HBC

6月25日(日)

午前6時30分〜45分

「旭川でキャンプ! (仮題)」

●旭川市民ニュース S T V 毎週土曜日

午前11時54分〜58分

●わくわくライブ旭川

ケーブルテレビポテト 11ch

毎週土曜日

午後1時〜1時30分のうち、15分間

ラジオ

●市からのお知らせ

FMリバー FM83.7MHz

毎月第1〜3木曜日

午後4時から約5分間

クイズに答えて

プレゼントを 当てよう!



●問題 今月号の特集

のタイトルは「〇〇と共にこれからも 私のまちの動物園」です。〇〇に入る言葉は?

●応募方法 はがきかファックス、電子メールに、答・住所・氏名・年齢・電話番号と広報誌を読んだ意見や感想、取り上げてほしいテーマなどを記入して、6月末日までに下記の応募先へ。正解者の中から抽選で10人に、旭山動物園内の施設ごとに見所や動物の解説を掲載した、旭山動物園の動物図録をプレゼント。5月号の正解は「もの」、応募は260通でした。

●応募先 〒070-8525 旭川市6条通9丁目 旭川市役所広報広聴課「広報クイズ係」

FAX 25・6515 ✉ kohoquiz@city.asahikawa.hokkaido.jp



夜間・休日等の当番医は

北海道救急医療情報案内センター

一般電話からはフリーダイヤル

☎ 0120・20・8699

携帯電話からは

☎ 011・221・8699

旭川市医師会

携帯版



市の主な相談窓口

※開設日時は窓口によって異なります。

●子供に関する相談や
児童虐待の通報・相談

☎ 26・5500

●女性が抱える問題や
配偶者等の暴力の相談

☎ 25・6418

●ひとり親家庭等の相談

☎ 25・9107

●高齢者の介護に関する相談

☎ 25・9119

●障害がある方の総合相談

☎ 73・5936
FAX 73・5937

子供からの相談電話

子どもホットライン (無料)

☎ 0120・528506

平日午前8時45分〜午後5時15分
(月・木曜日は午後8時まで)

表紙の 写真



旭山動物園50周年ロゴマークのモチーフはシンリンオオカミ。日本で初めて人間が絶滅させたエゾオオカミの歴史を通して、野生動物との共存や環境保全について考えてほしいとの願いからです。